

第5・6学年 算数科学習指導案

日時 平成18年10月17日(火) 5校時
児童 5年 男子 3名 女子 1名 計4名
6年 男子 3名 女子 2名 計5名
指導者

5年

1 単元名 8 小数のわり算
「小数のわり算を考えよう」

2 単元目標

除数が小数の場合の除法の意味とその計算のしかたについて理解し、それをを用いる能力を高める。また、計算法則は数範囲が小数の場合でも成り立つことを理解する。

〔関心・意欲・態度〕

・除数が小数の場合でも、既習の整数の場合の数量関係などをもとにして、除法の式に表そうとする。

〔数学的な考え方〕

・整数の除法計算と関連づけて、除数が小数の除法計算のしかたを考える。

〔表現・処理〕

・除数が小数の除法計算をすることができる。

〔知識・理解〕

・除数が小数の除法の意味やその計算のしかたを理解する。

3 単元について

(1) 教材観

本単元は、第5学年の目標「(1) 小数及び分数の意味や表し方についての理解を深める。また、小数の乗法及び除法の意味について理解し、それらの計算の仕方を考え、適切に用いることができるようにするとともに、分数の加法及び減法の意味について理解し、それらの計算の仕方を考え、用いることができるようにする。」及び、内容[A数と計算]の(3) 小数の乗法、除法「小数の乗法及び除法の意味について理解し、それらを適切に用いることができるようにする。ア 乗数や除数が整数である場合の乗法及び除法の意味について理解すること。イ 乗数や除数が整数の場合の計算の考え方を基にして、乗数や除数が小数である場合の乗法及び除法の意味について理解すること。ウ 小数の乗法及び除法の計算の仕方を考え、それらの計算ができること。また、余りの大きさについて理解すること。」を受けて設定されたものである。

6年

1 単元名 7 分数のかけ算とわり算(2)
「分数のかけ算とわり算を考えよう(2)」

2 単元目標

除数が分数である場合の除法計算の意味とその計算のしかたについて理解し、それをを用いる能力を高める。

〔関心・意欲・態度〕

・分数÷分数の計算のしかたを、分数の性質や既習の計算と関連づけて考えようとする。

〔数学的な考え方〕

・分数の性質や既習の計算をもとにして、分数÷分数の計算のしかたを考える。

〔表現・処理〕

・分数÷分数の計算ができる。

〔知識・理解〕

・分数÷分数の計算の意味やその計算のしかたを理解する。

3 単元について

(1) 教材観

本単元は、第6学年の目標「(1) 分数の加法及び減法についての理解を深め、適切に用いることができるようにするとともに、分数の乗法及び除法の意味について理解し、それらの計算の仕方を考え、適切に用いることができるようにする。」及び、内容[A数と計算]の(3) 分数の乗法、除法「分数の乗法及び除法の意味について理解し、それらを適切に用いることができるようにする。ア 乗数や除数が整数である場合の乗法及び除法の意味について理解すること。イ 乗数や除数が整数や小数の場合の計算の考え方を基にして、乗数や除数が分数である場合の乗法や除法の意味について理解すること。ウ 分数の乗法及び除法の計算の仕方を考え、それらの計算ができること。」を受けて設定されたものである。

児童は、第5学年の第2単元「小数のかけ算とわり算」で被除数まで、第8単元「小

児童は、第4学年の第6単元「小数」で1/10の位の範囲でしくみや加減計算について学習し、第5学年の第1単元「小数と整数のしくみ」で小数の意味を1/1000の位まで拡張し、小数も十進法であることを学習してきた。小数の乗法については、第5学年の第2単元「小数のかけ算とわり算」で小数×整数の意味と計算まで学習しており、前単元である第7単元「小数のかけ算」では小数×小数の意味と計算方法を学習している。

本単元では、「÷小数」で除法の意味の拡張と、その計算方法を扱う。はじめに等分除を扱い、除法の基本的な意味が「1つ分の量」を求める計算であることを理解させる。また、計算では「÷小数」を10倍、100倍して「÷整数」に帰着して計算すればよいことを理解させていく。

(2) 児童観

児童は、新しい考え方に出会うと既習事項を生かして自分なりの方法で課題を解決しようという意識が高まって来ている。しかし、1つの考えだけでまとめてしまい、複数の考えから結果をまとめたり、よりよい方法を考えたりしようという意識は低い。

小数については、整数と同じしくみであることを理解できたが生活に生かそうとする様子はあまり見られない。

レディネステストの結果では、未習内容の小数÷小数の計算ができたのが1名、整数÷小数の計算ができた児童はいなかった。2名は計算したが小数点の位置が違っていた。

(3) 指導観

学習のはじめに等分除を扱っているが、等分除の除法は「等分した結果」を求めるための計算と考えていると「÷整数」ではよかったが、「÷小数」ではその意味が理解できなくなる。そこで、数直線を使い、目盛り1に対応する値を求め、言葉の式にあらわしながら、除法は「1つ分の量」を求める計算であることを理解させたい。また、「÷小数」の計算は除数と被除数を10倍、100倍して「÷整数」として考えればよいが、既習の計算法則などを生かしながら意味を理解させたい。

また、ガイド学習では、数直線や言葉の式をもとに考えを発表しあい、分かったこと、分からなかったところを明らかにさせ、次の直接指導につながるようにさせたい。

本時の指導では、比較量、基準量が小数の場合でも比較量÷基準量=何倍という関係が成り立つことを理解させていく。何倍かを求めるわけだが、比較量が基準量より小さく純小数倍になる場合も扱う。純小数倍は初めてであり、また、今まで「大きな数÷小さな数」だった除法が「小さな数÷大きな数」の立式もする。考える際には既習事項をもとに、数直線に数量の関係をあらわしながら、どの量を基準量、比較量とするかをしっかりとらえさせた上で求めさせたい。

数のわり算」では除数まで整数の除法の意味を小数に拡張してきた。また、分数へは前単元「分数のかけ算とわり算(1)」で被除数まで行っている。

本単元では、「÷分数」の意味と計算のしかたを理解させていく。被除数だけでなく除数についても分数に拡張することで、除法についてはまとめの段階となり、小学校での計算の学習を終了する。分数の計算方法を記憶して計算することは可能であるが、この計算方法を導き出す過程を大切に、分数でわることの意味を理解させた上で計算のしかたを理解させていく。また、分数倍についての指導では、割合の見方を取り上げ、分数倍の概念をさらに理解させていく。

(2) 児童観

児童は、学習したことを生かして練習問題などに意欲的に取り組もうとしている。しかし、既習事項を生かしながら課題に取り組み、新しい考え方を導き出すことに対しては意欲的であるとは言いがたい。分数については便利であると感じ日常においても使う姿が見られる反面、通分や約分に対しては抵抗感がある。

レディネステストの結果では、未習内容の分数の除法計算、分数で表された時間を求めることにおいて両方とも1名が正解だった。

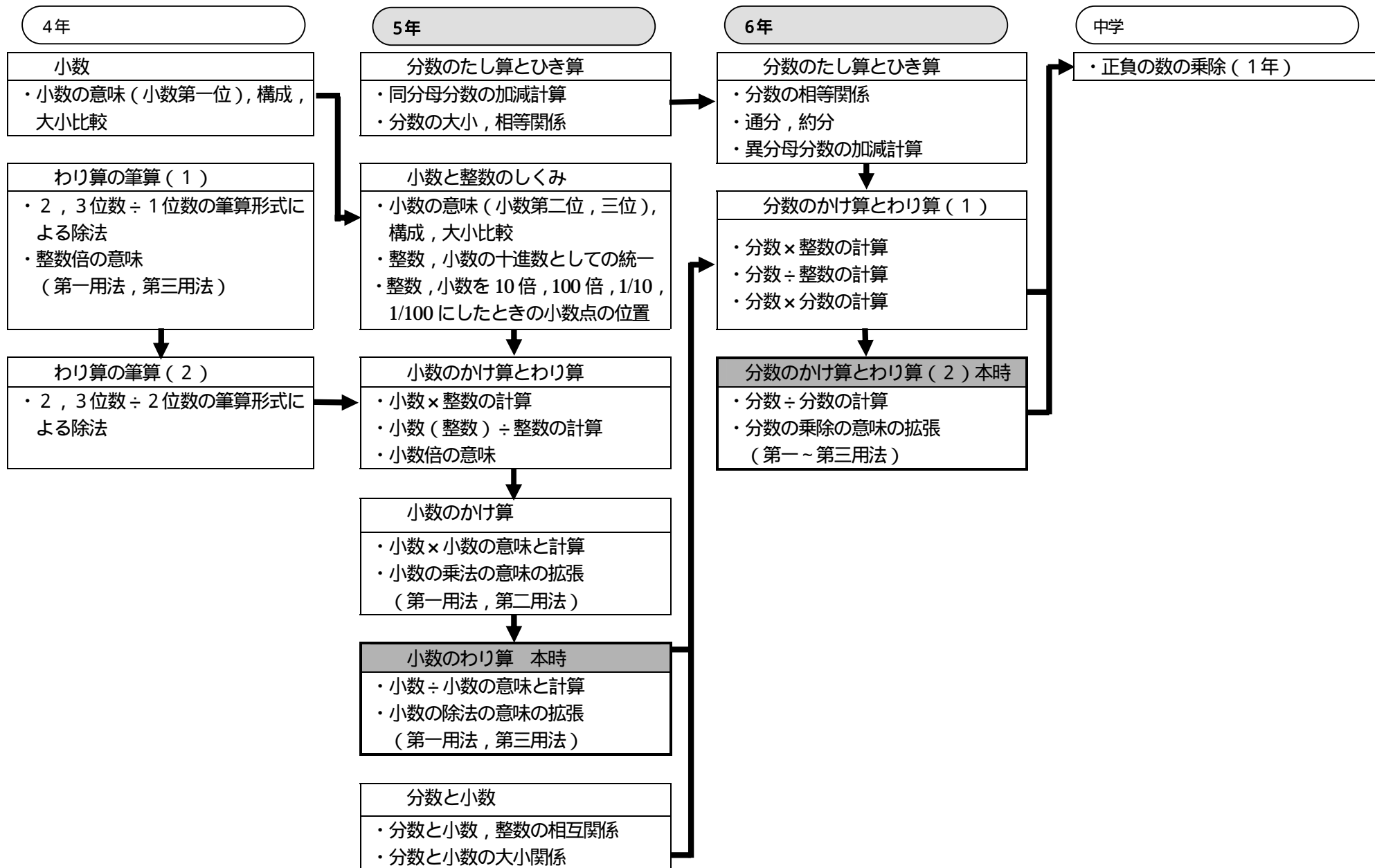
(3) 指導観

分数の除法においては、今までの等分除の「3等分する」などといった捉え方では「3/4等分する」ことの意味が捉えられないので、「全体の量÷いくつ分=1つ分の量」であることを確認させながら指導したい。分数の除法の計算方法は、「わる数の分母と分子を入れかえた数をかける」ことであり、これを適用して計算することは児童にとって難しいことではないと思われる。しかし、この計算方法を導き出すことは難しいのではないかと考える。図や数直線、言葉の式などにあらわし、既習の考え方を生かしながら計算の意味を導いていきたい。

また、ガイド学習では、数直線や言葉の式をもとに考えた結果を発表しあい、考え方の違いや同じ点をまとめながら、分数でも整数と同じ式を使えることをまとめさせたい。

本時の指導では、比較量、基準量が分数の場合でも比較量÷基準量=何倍という関係が成り立つことを理解させていく。何倍かを考える際には数直線を確認に描かせ、基準量、比較量をしっかりとらえさせた上で求めさせたい。また、小数倍の時と同じように求めることができることに気づかせたい。

(4) 教材の関連と発展



4 単元指導計画

5年					6年				
小単元	時間	目標	主な学習活動	主な評価規準	小単元	時間	目標	主な学習活動	主な評価規準
小数のわり算	1・2	・小数でわることの意味と、整数÷小数(1/10の位まで)の計算のしかたを理解する。	・立式を考える。 ・ $200 \div 2.5$ の計算のしかたを考える。 ・ $200 \div 2.5$ の計算のしかたをまとめる。	考 既習の整数÷整数, 小数÷整数などに関連づけて, 整数÷小数(1/10の位まで)の計算のしかたを考えている。 知 小数でわることの意味を理解している。	分数のわり算	1・2	・分数でわることの意味を理解する。 ・真分数÷真分数の計算のしかたを理解し, その計算ができる。	・ $3/4$ dl のペンキで $2/5$ m ² の板を塗るとき, このペンキ 1dlで塗れる面積を求める式を考える。 ・ $2/5 \div 3/4$ の計算のしかたを考える。 ・真分数÷真分数の計算のしかたをまとめる。	関 分数の除法の意味を数直線図などを用いて考えようとしている。 考 図や計算のきまりを用いて既習の分数×整数, 分数÷整数の計算をもとにして, 真分数÷真分数の計算のしかたを考えている。 表 真分数÷真分数の計算ができる。
	3・4	・1/10の位までの小数どうしの除法の筆算のしかたを理解し, その計算ができる。 ・1/10の位までの小数どうしの除法の計算(商が純小数や, 被除数に0を補う場合)ができる。	・立式を考える。 ・ $7.8 \div 6.5$ の計算のしかたを考える。 ・小数÷小数の筆算のしかたをまとめる。 ・ $2.8 \div 3.5$, $1.8 \div 2.4$, $8 \div 2.5$ の筆算のしかたを考える。 ・計算練習をする。	考 除法の性質を用いて既習の計算に帰着させ, 1/10の位までの小数どうしの除法の筆算のしかたを考えている。 表 1/10の位までの小数どうしの除法の筆算(商が純小数や, 被乗数に0を補う場合を含む)ができる。 知 小数÷小数の除法の筆算のしかたを理解している。		3	・計算の途中で約分できるときは, 約分すると簡単なことを理解する。 ・整数÷分数の計算のしかたを理解し, その計算ができる。	・ $9/10 \div 3/4$ の工夫した計算のしかたを考える。 ・ $5 \div 2/3$ の計算のしかたを考える。	表 整数÷分数の計算ができる。 知 計算の途中で約分すると簡単に処理できることを理解している。
						4	・3口の分数の乗除混合計算のしかたを理解し, その計算ができる。	・ $3/4 \div 6/5 \times 1/5$ の計算のしかたを考える。	表 3口の分数の乗除混合計算ができる。
	<p><発展> 「もの知りコーナー」を読み, 分数と小数の混ざった計算のしかたについて知り, 分数の乗除混合計算についての関心を広げる。</p>								

5	<ul style="list-style-type: none"> 純小数でわると、商は被乗数より大きくなることを理解する。 	<ul style="list-style-type: none"> $240 \div 1.2$ と $240 \div 0.8$ の計算をして、商と被除数の大きさを比べる。 純小数でわると商が被除数より大きくなることをまとめる。 	<p>考 数直線上で除数の大きさと関連づけて、被除数と商の大小関係を考えている。</p> <p>知 純小数でわると、商が被乗数より大きくなることを理解している。</p>	5 ・ 6	<ul style="list-style-type: none"> 分数の乗除の立式について理解を深める。 「7/4mの重さが 2/5kg のホースがあります」という文章をもとにして立式する。 	表 問題場面における数量の関係を、数直線図を用いて立式することができる。		
	<p><発展> 「もの知りコーナー」を読み、逆数について知り、分数の除法についての興味、関心を広げる。</p>							
6	<ul style="list-style-type: none"> 小数の除法におけるあまりの位取りについて理解する。 	<ul style="list-style-type: none"> 2.5L のジュースを 0.7L 入りの水筒に入れると何個できて、ジュースはどれだけあまるかを考える。 小数の除法におけるあまりの小数点のうつ位置についてまとめる。 	<p>考 あまりの小数点の位置を被除数と関連させて考えている。</p> <p>表 あまりのある場合の小数の除法計算ができる。</p>	時間 と 分数	1	<ul style="list-style-type: none"> 時間の分数表示について理解する。 	<ul style="list-style-type: none"> 3/4 時間は何分か考える。 40 分は何時間か考える。 「もの知りコーナー」を読み、分数についてのおかしな話を知る。 	表 時間を分数表示して、問題解決に用いることができる。
7	<ul style="list-style-type: none"> 小数の除法の答えを概数で表すときの処理のしかたを理解する。 	<ul style="list-style-type: none"> 1.4 L の砂の重さが 2.6kg のときの、1L の砂の重さを、2 けたの概数で求める。 	表 小数の除法の考えを、必要に応じて概数で表すことができる。					
8	<ul style="list-style-type: none"> 学習内容を確実に身につける。 	<ul style="list-style-type: none"> 「力をつけよう」に取り組む。 	表 学習内容を正しく用いて、問題を解決することができる。					
				2	<ul style="list-style-type: none"> 学習内容を確実に身につける。 	<ul style="list-style-type: none"> 「力をつけよう」に取り組む。 	表 学習内容を正しく用いて、問題を解決することができる。	

小数の倍とわり算	1 本時	<ul style="list-style-type: none"> 比較量, 基準量が小数のときも, 何倍かは除法で求められることを理解する。 	<ul style="list-style-type: none"> 3.6km, 1.8km は 2.4km の何倍かを求める方法を考える。 比較量, 基準量が小数の場合でも倍を求めるには除法を使うことをまとめる。 	表 比較量, 基準量が小数の場合でも, 何倍かを除法で求めることができる。	分数の倍とかけ算・わり算	1 本時	<ul style="list-style-type: none"> 比較量, 基準量が分数の場合も, 何倍かは除法で求められることを理解する。 	<ul style="list-style-type: none"> 5/4m, 3/8m は 1/2m の何倍かの求め方を考える。 比較量, 基準量が分数のときの何倍かの求め方をまとめる。 	考 比較量, 基準量が分数の場合も, 図などを用いることによって整数倍に帰着して考えている。
	2	<ul style="list-style-type: none"> 倍を表す数が小数のときも, 基準量は比較量 ÷ 倍で求められることを理解する。 	<ul style="list-style-type: none"> 630g が基準量の 1.8 倍にあたるときの, 基準量の求め方を考える。 基準量を求めるには, を使って乗法の式に表すと考えやすいことをまとめる。 	表 倍を表す数が小数の場合も, を用いるなどして基準量を求めることができる。		2	<ul style="list-style-type: none"> 倍を表す数が分数の場合も, 何倍かにあたる大きさは基準量 × 何倍で求められることを理解する。 	<ul style="list-style-type: none"> 600 円の 6/5 倍, 3/5 倍の代金の求め方を考える。 基準量の分数倍にあたる大きさの求め方をまとめる。 	知 倍を表す数が分数の場合も, 比較量を求めるには, 乗法を用いてよいことを理解している。
まとめ	1 ・ 2 ・ 3	<ul style="list-style-type: none"> 学習内容の理解を確認する。 	<ul style="list-style-type: none"> 「たしかめよう」に取り組む。 	知 基本的な内容について理解している。	まとめ	3	<ul style="list-style-type: none"> 倍を表す数が分数の場合も, 基準量は比較量 ÷ 何倍で求められることを理解する。 	<ul style="list-style-type: none"> 900 円がもとの値段の 5/3 倍にあたる時の, もとの値段の求め方を考える。 を用いて立式し, にあてはまる数を求める。 	表 倍を表す数が分数の場合も, を用いるなどして基準量を求めることができる。
	<p><発展> 巻末 p.110~111 の「おもしろ問題にチャレンジ!」に取り組む, 学習内容をもとに小数の除法について理解を深める。</p>					1 ・ 2	<ul style="list-style-type: none"> 学習内容の理解を確認する。 	<ul style="list-style-type: none"> 「たしかめよう」に取り組む。 	知 基本的な学習内容について理解している。
						<p><発展> 巻末 p.98~99 の「おもしろ問題にチャレンジ!」に取り組む, 学習内容をもとにじっくり考え, 追求する。</p>			

5 本時の指導

(1) 目標

比較量，基準量が小数のときも，何倍かは除法で求められることを理解する。

(1) 目標

比較量，基準量が分数の場合も，何倍かは除法で求められることを理解する。

(2) 具体の評価

5年				
本時の目標	主な評価規準	具体の評価		具体的な手だて
		A 十分満足できる	B 概ね満足できる	
・比較量，基準量が小数のときも，何倍かは除法で求められることを理解する。	表 比較量，基準量が小数の場合でも，何倍かを除法で求めることができる。	・比較量，基準量が小数の場合でも，手際よく何倍かを除法で求めることができる。	・比較量，基準量が小数の場合でも，何倍かを除法で求めることができる。	・数直線をもとに基準量，比較量をとらえさせ，整数倍の時のように除法で求めることを確認させる。

6年				
本時の目標	主な評価規準	具体の評価		具体的な手だて
		A 十分満足できる	B 概ね満足できる	
・比較量，基準量が分数の場合も，何倍かは除法で求められることを理解する。	考 比較量，基準量が分数の場合も，図などを用いることによって整数倍に帰着して考えている。	・比較量が，基準量が分数の場合でも整数倍に帰着して考えたり， を使ったりして多様に考えている。	・比較量，基準量が分数の場合も，図などを用いることによって整数倍に帰着して考えている。	・数直線をもとにしながら，整数倍の時はどのように立式したかを思い出させ，考えさせる。

(3) 仮説との関わり

仮説1について

- ・両学年とも原理把握型，同単元異内容で，同じような問題に取り組むことで共通する解決方法や一緒に学ぶよさに気づかせる為に指導過程のAをとる。

仮説2について

- ・5年生は主に調べる段階と深める段階でガイドを中心に進めさせる。調べる段階では時間を意識して進めさせたい。深める段階では，別な問題も解く中で整数と同じ式が成り立つことを気づかせたり，小数倍の意味を自分たちで確認させたい。
- ・6年生は主に確かめる段階でガイドを中心に進めさせる。それぞれが調べた結果を話し合わせ，いずれも同じ式になることに気づかせたい。
- ・両学年ともガイド学習を充実させるために，見通す段階と自分で調べる際のヒントカードを大切に，自分の考えを持てるようにさせたい。

(4) 展開

5年		形態 段階		6年	
・支援 *ポイント Gガイドへの指導	学習活動			学習活動	・支援 *ポイント Gガイドへの指導
*教科書は閉じさせる。 ・紙板書 *既習事項との相違点を明確にして本時の題意をとらえる。	1 問題を把握する 右のような長さの、3本のリボンがあります。 赤のリボンの長さをもとにすると、青のリボンと黄色のリボンの長さはそれぞれ何倍ですか。	つ	つ	1 問題を把握する 右のような長さの、3本のリボンがあります。 赤のリボンの長さをもとにすると、青のリボンと黄色のリボンの長さはそれぞれ何倍ですか。	*教科書は閉じさせる。 ・紙板書 *既習事項との相違点を明確にして本時の題意をとらえる。
	2 課題を把握する 小数の時の何倍かの求め方を考えよう	5分	5分		
*整数の場合、何倍かを求めるには比べられる量÷もとにする量＝何倍であったかを確認する。	3 課題解決について見通す ・数直線にかく。 ・結果を予想する。 ア 青は2倍より短い イ 黄は1倍より短い ・方法 ア 数直線をもとに イ 式 ウ 言葉の式 ・考え方 整数の時と同じように	見 通 す 5分	見 通 す 5分	3 課題解決について見通す ・数直線にかく ・結果を予想する ア 青は2倍より長い イ 黄は1倍より短い ・方法 ア 数直線をもとに イ 式 ウ 言葉の式 ・考え方 ア 整数の時と同じように イ 小数になおして ウ 通分して	*整数の場合、何倍かを求めるには比べられる量÷もとにする量＝何倍であったかを確認する。
*一つの考えだけでなく、複数の方法で考えてみる。 ・ヒントカード Gガイドを中心に進めさせる	4 自分で調べる ・数直線をもとにする。 ・言葉の式にあてはめる。	調 べ る 5分	調 べ る 7分	4 自分で調べる ・言葉の式にあてはめる。 ・小数になおす。 ・通分して整数にする。 比較量，基準量が分数の場合も，図などを用いることによって整数倍に帰着して考えている。(ノート) 具体的な手だて 数直線をもとにしなが，整数倍の時はどうに立式したかを思い出させ，考えさせる。	*一つの考えだけでなく，複数の方法で考えてみる。 ・ヒントカード

<p>Gガイドに進めさせ、同じ考え・違う考えまでまとめて黒板にホワイトボードを貼らせる。</p>	<p>5 調べた結果を発表する ・比べられる量÷基にする量=何倍にあてはめて 青 $3.6 \div 2.4 = 1.5$ 1.5倍 黄 $1.8 \div 2.4 = 0.75$ 0.75倍</p>	<p>確 か め る 5 分</p>	<p>確 か め る 5 分</p>	<p>5 調べた結果を発表する ・言葉の式にあてはめる 青・・・$5/4 \div 1/2 = 5/2$ 5/2倍 黄・・・$3/8 \div 1/2 = 3/4$ 3/4倍 ・小数になおす 青・・・$1.25 \div 0.5 = 2.5$ 2.5倍=5/2倍 黄・・・$0.375 \div 0.5 = 0.75$ 0.75倍=3/4倍 ・通分する 赤=4/8, 青=10/8, 黄=3/8 青・・・$10 \div 4 = 5/2$ 5/2倍 黄・・・$3 \div 4 = 3/4$ 3/4倍</p>	<p>Gガイドに進めさせ、同じ考え・違う考えをまとめて黒板にホワイトボードを貼らせる。</p>
<p>Gみんなの考えから、分数の時も何倍かを求める時は整数と同じ式が使えることをまとめさせる。</p>	<p>6 よりよい方法を考える ・比べる量÷もとにする量=何倍</p>	<p>深 め る 7 分</p>	<p>深 め る 3 分</p>	<p>6 よりよい方法を考える ・比べる量÷もとにする量=何倍</p>	<p>Gみんなの考えから、分数の時も何倍かを求める時は整数と同じ式が使えることをまとめさせる。</p>
<p>7 まとめる</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; width: fit-content; margin: 10px auto;"> <p>小数の時も、何倍かを求めるには、比べる量÷もとにする量=何倍で求めることができます。</p> </div>	<p>7 まとめる</p> <ul style="list-style-type: none"> ・小数倍の意味を確認する。 0.75倍は、2.4mを1とみたとき、1.8mが0.75にあたることを表しています。 	<p>ま と め る 5 分</p>	<p>ま と め る 5 分</p>	<p>7 まとめる</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; width: fit-content; margin: 10px auto;"> <p>分数の時も、何倍かを求めるには、比べる量÷もとにする量=何倍で求めることができます。</p> </div> <ul style="list-style-type: none"> ・分数倍の意味を確認する。 5/2倍は、1/2mを1とみたとき、5/4mが5/2の割合にあたることを表しています。 	
<p>*ガイドを中心に進めさせる</p> <div style="border: 1px dashed black; padding: 5px; width: fit-content; margin: 10px auto;"> <p>比較量, 基準量が小数の場合でも、何倍かを除法で求めることができる。(計算ドリル⁵⁶ステップ1) 具体的な手だて 数直線をもとに基準量, 比較量をとらえさせ, 整数倍の時のように除法で求めることを確認させる。</p> </div>	<p>8 練習問題を解く</p>	<p>ひ ろ げ る 8 分</p>	<p>ひ ろ げ る 8 分</p>	<p>8 練習問題を解く ・教科書・ドリル (p80, 51)</p>	<p>*ガイドを中心に進めさせる</p>
<p>*新しく学んだことを確認する。 *次時の内容を簡単に確認する。</p>	<p>9 学習を振り返る ・今日の学習を振り返る。 10 次時の学習について知る</p>	<p>振 り 返 る 5 分</p>	<p>振 り 返 る 5 分</p>	<p>9 学習を振り返る ・今日の学習を振り返る。 10 次時の学習について知る</p>	<p>*新しく学んだことを確認する。 *次時の内容を簡単に確認する。</p>

(5) 板書計画

5年

右のような長さの、3本のリボンがあります。 赤のリボンの長さをもとにすると、青のリボンと黄色のリボンの長さはそれぞれ何倍ですか。			小数の時も、何倍かを求める時は、 $\text{比べる量} \div \text{もとにする量} = \text{何倍}$ で求めることができます。
(数直線) 見通し ・青は2倍より短い・黄は1倍より短い ・数直線をもとに ・言葉の式			0.75倍は2.4mとみたとき、1.8mが0.75にあたることを表しています。
小数の時の何倍かの求め方を考えよう			

6年

右のような長さの、3本のリボンがあります。 赤のリボンの長さをもとにすると、青のリボンと黄色のリボンの長さはそれぞれ何倍ですか。			分数の時も、何倍かを求める時は、 $\text{比べる量} \div \text{もとにする量} = \text{何倍}$ で求めることができます。
(数直線) 見通し ・青は2倍より長い・黄は1倍より短い ・数直線・言葉の式 ・整数と同じように ・小数になおして ・通分して			5/2倍は1/2mを1とみたとき、5/4mが5/2の割合にあたることを表しています。
分数の時の何倍かの求め方を考えよう			

(6) 座席表

黒板(6年)

	(G)

(G)はガイド児童

	(G)

黒板(5年)